

① 基本事項	計画コード		22012		事業名		水道施設耐震化整備事業							
	事業手法		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☒ 補助等 ☐ その他()											
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上					予算科目目	会計	11:水道事業会計				
		基本施策	03:上下水道の充実						款	資1:資本的支出				
		施策の方向	01:安全でおいしい水の安定供給						項	01:建設改良費				
		重点プロジェクト	03:「しなやか田園都市」プロジェクト						目	01:施設費				
事業期間		R 1 年度 ~ R 9 年度		主な根拠法令等		水道法								
										担当部署				
										部	上下水道部			
										課	上水道課 上水道工務G			
② 事業概要（P）	事業の必要性(経緯・背景等)			事業の対象(誰に、何に対して)			事業の目的(どのような状態にしたいのか)			事業の内容(どのような取組を行うのか)				
	地震災害等により断水となると市民生活等に与える影響が大きいことから、平常時はもとより、震災等の非常時においても一定の給水を確保する必要があるため、新水道ビジョンに基づき水道施設(管路・浄水場・配水池等)の耐震化を図り、被害の発生を抑制し、影響を極力小さくする必要があります。			市民			水道施設の耐震化を進め、地震災害等の被害の低減を図ることにより、非常時においても一定の給水を確保する。また、二次災害を未然に防止するとともに、緊急遮断弁を設置し非常用飲料水を確保する。			基幹管路である水源地从り配水池を経由し、地区の主要部までの経路や、指定避難所や災害対策本部等の重要施設までの経路の水道施設の耐震化を行う。なお、水道施設簡易耐震診断の検証結果や被災時に与える給水の影響範囲等を考慮し、耐震化を進める。また、地震災害における二次災害を未然に防止するとともに、断水時においても応急給水が対応できるよう主要配水池に緊急遮断弁を設置する。				
③ 事業の実施状況（P・D）	年度		令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	事業計画		○基幹管路耐震化整備 ・第1水源系 ○緊急遮断弁整備 ・関第2水源系			○緊急遮断弁整備 ・第1水源系			○基幹管路耐震化整備 ・第1水源系			○基幹管路耐震化整備 ・第1水源系		
	活動実績 (計画通り実施できたか)		第1水源系は、延長75.8mの基幹管路耐震化工事を行った。また、詳細設計業務委託では、鉄道横断箇所になることから、関係機関である西日本旅客鉄道(株)と計画協議を行っていたが、協議に時間を要したため、委託業務の発注が遅れたことにより、年度内に完了することができなかった。関第2水源系においては、緊急遮断弁を1基設置し、危機管理体制の拡充を図った。			令和4年度から繰越した委託業務を完了させた。また、令和5年度工事は、半導体不足の影響や追加工事の材料手配等に日数を要したことから、年度内の工事完成ができず、繰越した。 【令和6年3月末時点の進捗率】 緊急遮断弁設置工事 50% 緊急遮断弁室配水管布設工事 85%								
	計画額	事業費	130,000千円		104,000千円		65,000千円		37,000千円		104,400千円		152,600千円	
			国・県支出金		0千円									
			地方債		0千円									
			その他		0千円						8,000千円		12,000千円	
			一般財源		130,000千円		104,000千円		65,000千円		37,000千円		96,400千円	
	決算額	事業費	73,877千円		36,388千円									
			国・県支出金		0千円									
			地方債		0千円									
			その他		0千円									
			一般財源		73,877千円		36,388千円							
	①期間内計画額(R4~7)		452,000千円			②期間外計画額(R8~)		186,000千円		①+②総計画額		638,000千円		

(令和5年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	26,000千円
当年度の最終予算額	71,400千円
次年度への繰越額	60,400千円

④ 指標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	基幹管路の耐震化率	基幹管路耐震化済延長/基幹管路総延長	成果	%	計画値	19.8	19.8	20.2	21.0
					実績値	19.8	19.8		
	主要配水池への緊急遮断弁の設置施設数	主要配水池への緊急遮断弁の設置数	成果	施設	計画値	1	1		
					実績値	1	0		
					計画値				
					実績値				

⑤ 成果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)	
	B	令和4年度から繰越した詳細設計業務委託を、今後の基幹管路耐震化整備に遅れが生じないよう完了させた。また、亀山配水池における緊急遮断弁設置工事及び緊急遮断弁室配水管布設工事については、半導体不足の影響や追加工事の材料手配等に日数を要したことから、計画どおりの年度内完成ができなかったが、工期変更後は順調に進めており、令和6年7月に完成予定である。
	まずまず成果を得た	

事業の対象	事業の目的
市民	水道施設の耐震化を進め、地震災害等の被害の低減を図ることにより、非常時においても一定の給水を確保する。また、二次災害を未然に防止するとともに、緊急遮断弁を設置し非常用飲料水を確保する。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項	
	繰越工事の進捗を図り、令和6年7月までに完成させる。なお、工事の完成により計画する緊急遮断弁の設置が完了する。 また、令和6・7年度予定の軌道敷下推進工事は、西日本旅客鉄道㈱に委託することから、次年度以降の事業予定に影響がでないよう早期の協定締結を図るとともに、円滑な事業進捗に努める。	

⑦ 事業 の 展 開 (A)	方向性	
	継続(現状維持)	現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容	
	令和6年度で対応する(した)もの 西日本旅客鉄道㈱へ委託する工事と市発注の工事について、工程や交通障害等の調整を密に行い円滑な進捗に努める。	令和7年度以降で対応するもの 西日本旅客鉄道㈱に委託する工事の早期完成と、布気町地内の基幹管路の耐震化を進める。

【履歴】		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	成果判定	B	B		
	事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)		

1次評価者	上下水道部 上水道課 上水道工務GL 高沢 直
最終評価者	上下水道部 上水道課長 松永 政司